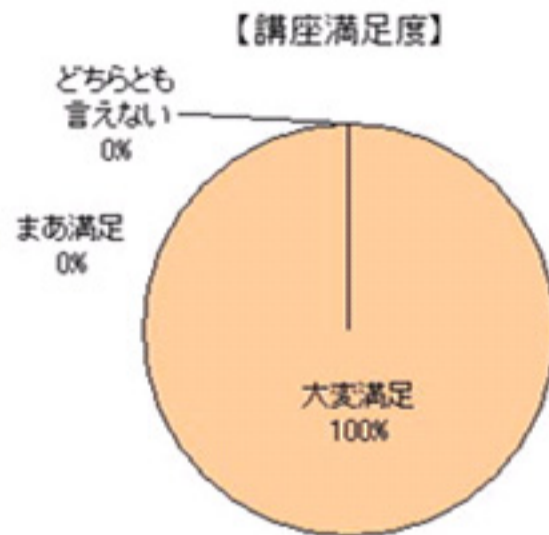


講座名	夏期インターンシップ
日時	2006年(平成18年)8月21日(月)～9月1日(金)
場所	すくらむ21
事業テーマ	身近な男女共同参画を考えよう。 人を通じて男女共同参画事業を理解する。 自分と社会との関係を理解し、将来の働き方を設計するきっかけとする。
内容	<p>The flowchart details the 10-day program:</p> <ul style="list-style-type: none"> Column 1: 身近な男女共同参画を学ぶ (Learning about gender equality) <ul style="list-style-type: none"> 1日: 川崎市の男女共同参画センターの役割と施設理解 2日: メディアを通して「身近なジェンダー」ワークショップ 3日: 「公的広報に見る川崎の男女共同参画」を考える学習会 7日: 東京電力の進める「男女共同参画」～働きやすい企業づくり～ Column 2: 出会いをキャリアのプラスにしよう (Let's make meetings a plus for your career) <ul style="list-style-type: none"> 1日: 10日間のプランニング 自己紹介と他者理解 2日: インタビュー法を学ぶ調査の基礎学習・練習 4日: インタビュー練習「働き手が伝えるすくらむ21」 5日: 女性起業家インタビュー準備 6日: 女性起業家インタビュー 8日: これから考えるキャリア講座 <ul style="list-style-type: none"> ・ふりかえりワーク ・ビジョンワーク ・30代のロールモデルに学ぶ Column 3: チームワークで学生オリジナル企画 (Student original projects with teamwork) <ul style="list-style-type: none"> すくらむ21 おまつり企画作成 館内マップ作成 中間プレゼン 参加団体へ打合せ同行 企画の再考 館内マップ完成 最終プレゼン <p>10日目: まとめ・発表「10日間を振り返り報告会」</p>
講師	<ul style="list-style-type: none"> ・麻生 恵氏(女性起業家 ガーデンデザイナー) ・雨宮 弘子氏(東京電力株式会社 労務人事部 ダイバーシティ推進室 室長) ・有北 いくこ氏(NPO法人 ままとんぎっず 代表) ・武藤 たか江氏(人事コンサルタント) ・深澤 純子氏(NPO法人ヒューマンサービスセンター事務局長) ・岡村 宏氏(東京舞台照明(株)舞台照明担当) ・中村 立子(男女共同参画センター館長) ・佐野 真子(男女共同参画センター専門研究員) ・太田 恭子(男女共同参画センタースタッフ)
募集人数	10人
申し込み人数	14人(内男性4人)
参加のべ人数	140人(内男性40人)

講座の様子



アンケートの結果



参加者の感想

- ・コミュニケーションはとても難しいものだと思いますが、「人の話をよく聞くコト」とおっしゃっていたので、なるほどと思いました。就職してからは、すぐには辞めないうで、ふんばれるものを見つけるように頑張りたいと思います。
- ・自分は何のためにこの作業をやっているのか、どういう意味合いがあるのか、常に先のことも自分なりにイメージしていく視点が大切なのだと感じました。また、もう一点として、もしも途中で行き詰ってしまった時、自分はどこまで理解できていてどこから理解できていないのかを明確にしていくことが大切だと学びました。その中で、自分が今できることを100%やっていく姿勢はこれからの仕事でも生きていくのではないかと感じました。
- ・「今まで自分がどういうことをやってきて、どういう状態にいるのかを考えてみると、まだ環境や他人のせいにしてしまう部分があることに気付く。確かにやむをえない部分もあるが、もう少し自分自身を管理し行動していける面も多くあるのではないかと。また、組織にいる人間として大切なのは相互理解だとおっしゃったこととも印象に残っている。例えばこの資料はどのように作成すれば見やすく、分かりやすいものになるかとか、常に相手のことを考えることが必要だと思った。そうすることによって、自分自身も高まり信頼を得られるのである。